

子ども未来投資基金

～支える金融、つなぐ金融～

東京大学教養学部 笠原 晃恭
川井 悠莉
中村 仁
藤崎 美沙

1章:問題意識

◆「貯蓄から投資へ」は進んでいない

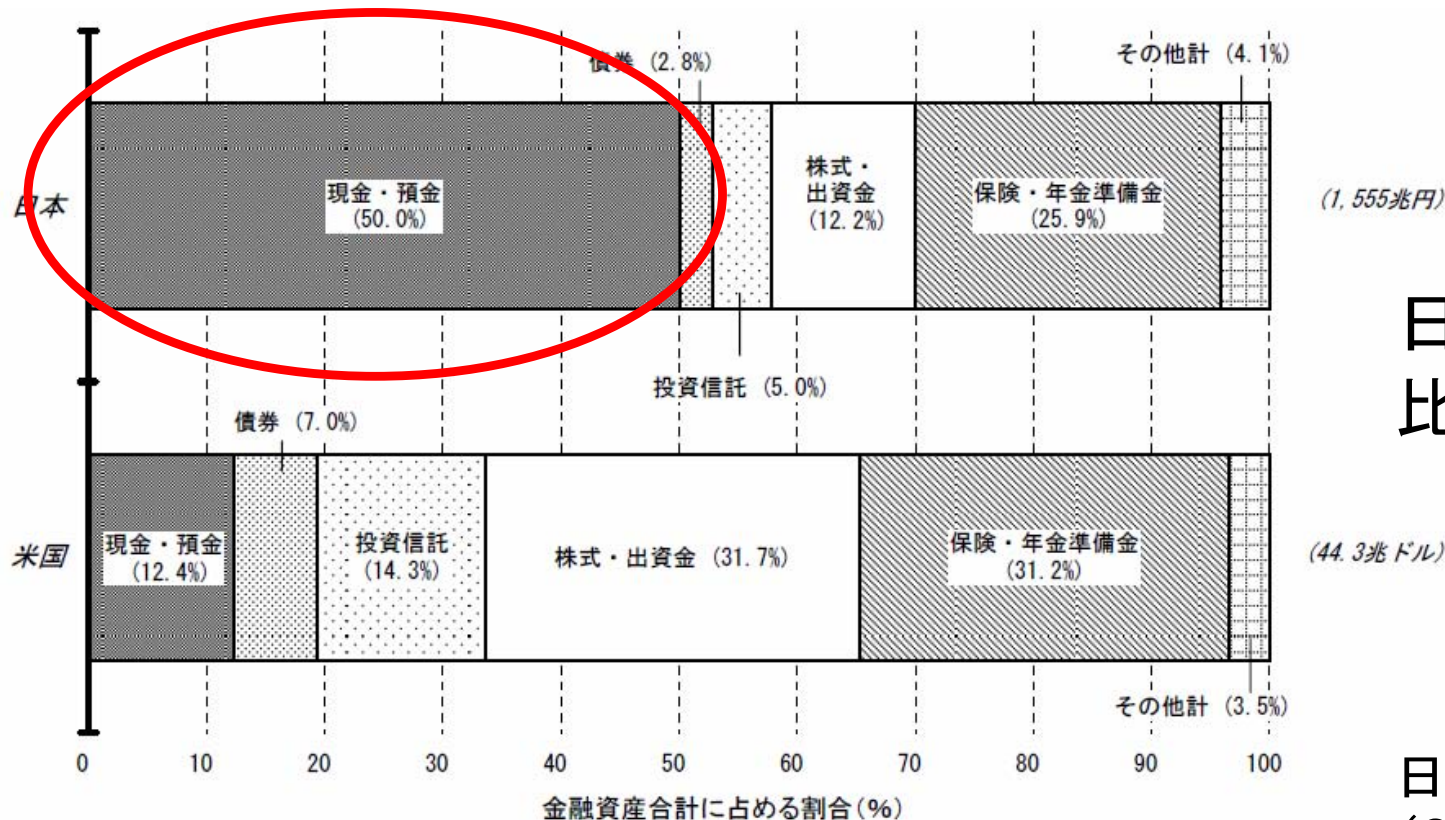
➤政府は「貯蓄から投資へ」を掛け声に、国民に投資を呼びかけてきた

＜背景＞経済全体のリスク分散と家計資産の有効活用

➤データ上、現預金からリスク性資産へのシフトは進んでいるように見えるが...

実際は「貯蓄から投資へ」は進んでいない！

◆(参考)家計金融資産の日米比較

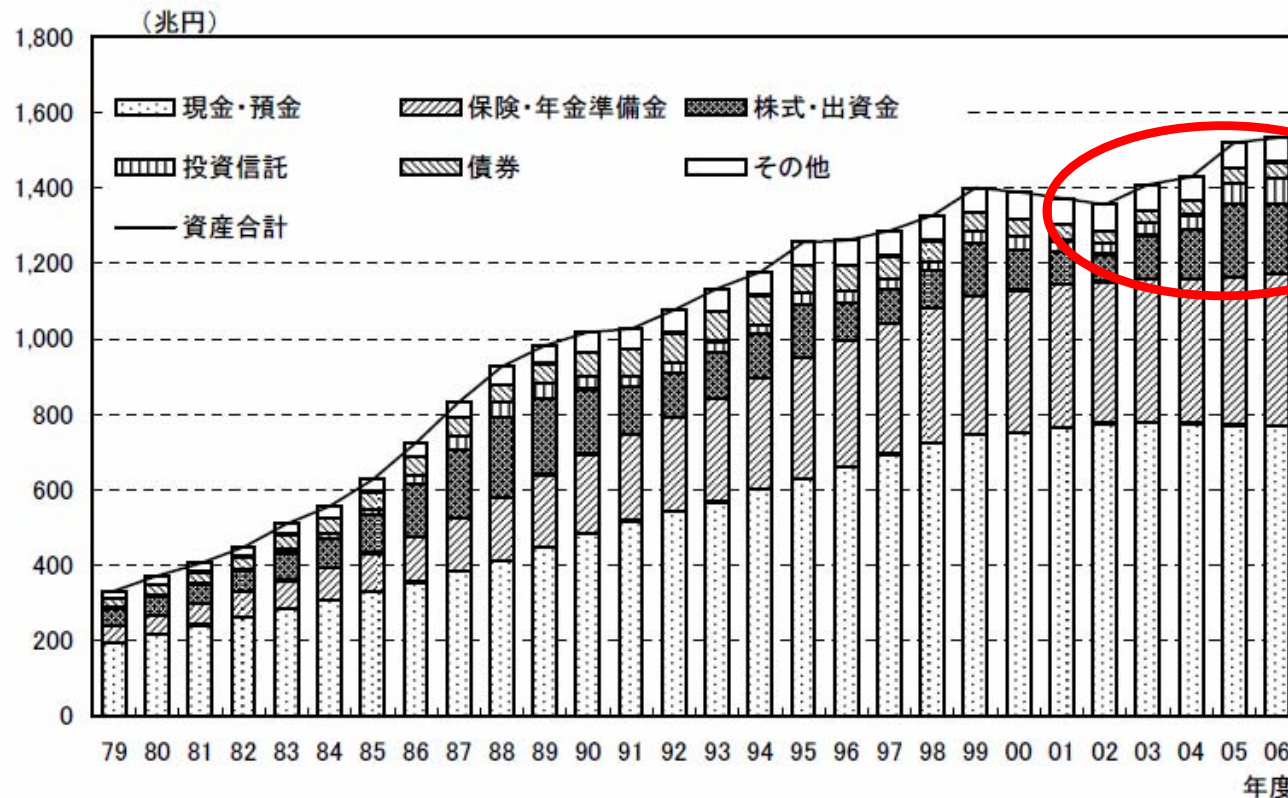


*「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債券」、「投資信託」、「株式・出資金」、「保険・年金準備金」を控除した残差。

日本は現預金の構成
比率が著しく高い

日本銀行「資金循環統計
(2007年度第2四半期速
報)」日米比較より転載

◆(参考)家計金融資産の構成推移



(注1) 債券は、「株式以外の証券」から投資信託を除く。

(注2) その他は、「貸出」「金融派生商品」「預け金」「未収・未払金」「対外証券投資」「その他」の合計。

「貯蓄から投資へ」は
急速に進んでいるよう
に見えるが...

日本銀行「資金循環統計
(2007年度第2四半期速
報)」参考図表より転載

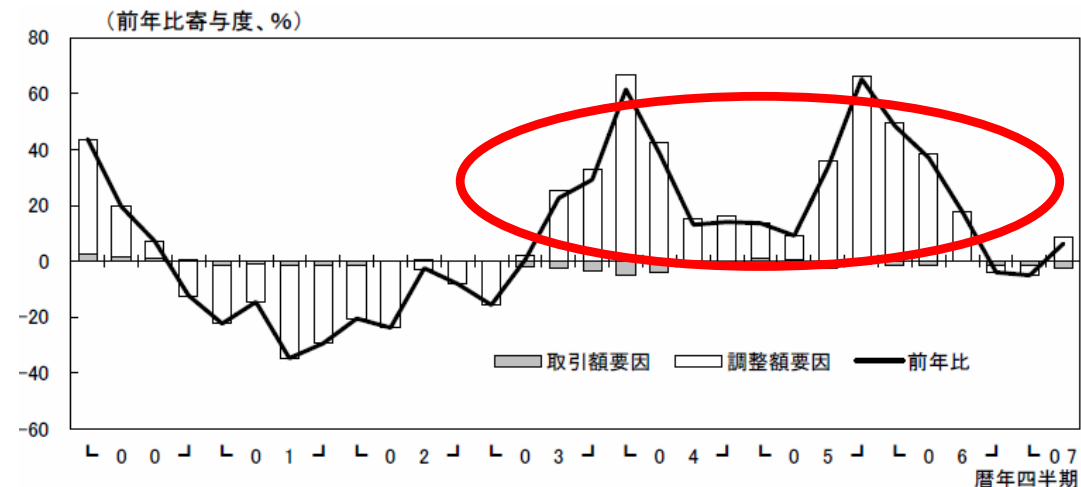
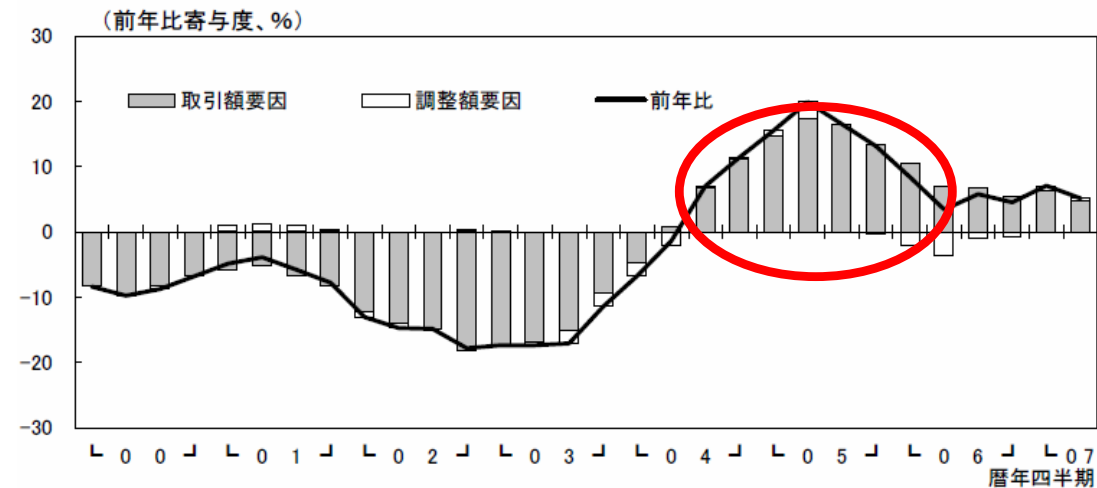
◆(参考)増加要因の分析(上:債券、下:株式)

①債券の増加要因
=個人向け国債の浸透

②株式の増加要因
=好調な株式市場を背景
としたキャピタルゲイン

実は売り越しが続いている

日本銀行「資金循環統計
(2007年度第2四半期速
報)」参考図表より転載



◆国民が投資に消極的な理由

「国民の多くが投資より貯蓄を選ぶ理由」

内閣府「『貯蓄から投資へ』に関する特別世論調査」H19.6

- ①預貯金の「安心感」
- ②金融商品に関する「知識不足」
- ③金融機関や証券市場に対する「不信任感」

⇒7割以上が「今後、投資を行うつもりがない」

◆(参考)内閣府「『貯蓄から投資へ』に関する特別世論調査」H19.6

①国民の多くが投資より貯蓄を選ぶ理由(複数回答)

- ・お金は銀行や郵便局に預けていれば**安心**だと思うから 52.3%
- ・株式や投資信託は、収益を期待できる半面、元本が減る可能性もあるから 43.3%
- ・株式や投資信託のことを**よく知らないから**(商品性がわかりにくいから) 40.2%
- ・株式や投資信託をどのように購入したらよいか**わからないから** 32.2%
- ・証券会社や証券市場に対する**不信感が強い**から 28.4%

②重要と思う国の取組(複数回答)

- ・商品内容やリスク(損失の可能性)の説明を強化する等、個人投資家を保護するための制度を整備すること41.4%
- ・違反企業や不公正な取引の取締りを強化すること(市場監視の強化) 38.1%
- ・株式保有や売買による利益に対する**税負担を軽減**すること(税制上の優遇措置) 26.9%
- ・納税手続を簡素化すること(特定口座制度の導入) 25.5%

2章:問題分析

◆カギは「金融リテラシー」の向上

➤「不安感」「知識不足」「不信感」から分かるのは・・・

⇒多くの国民が知識不足を背景に、「投資に対する漠然とした苦手意識」を感じている

⇒「苦手意識」克服のカギは「金融リテラシー」の向上

➤社会人向け金融教育に注目

◆「金融難民」発生のおそれ

- 社会人向けの金融教育をおろそかにすると、日本国民が「金融難民」に！？
- バブル崩壊後、金融行政の急速な方針転換。突然、突きつけられた「自己責任」、多くの国民は「寝耳に水」
- 少子高齢化時代を迎え、金融サービスを享受できない人達は著しく不利な立場に ⇒ 「金融難民」の発生！

3章:導出過程

◆従来の金融経済教育が「ダメ」な理由 たとえば、「知るぽると」を見てみると・・・

- ・わかりやすい！
- ・おもしろい！
- ・ためになる！

⇒しかし、「そもそも興味がある人しか見ない」という致命的な問題が！！



◆社会人向け金融教育「負のサイクル」

- 学生と異なり、社会人には教育の担い手が存在しない
⇒ 主体的に学ぶ意欲がある人の支援だけに陥りがち

知識がない→参加しない→学ぶ意欲がわかない→・・・

◆ターゲットは自ら学ばない層

- 今必要なのは、自ら学ばない層に注目し、彼らが金融に興味を持つきっかけを提供する政策

4章:提言の基本構想

◆「子ども未来投資基金」とは？

- 両親が教育資金の運用に用いる長期投資口座
 - ・・・出産直後に開設し、子どもの成人時に自動解約。
引き出しに一部制限。政府と金融機関の協力のもと運営。
- 「金融難民予備軍」が、子育てという機会を通じ、金融と向き合うきっかけを提供

◆なぜ子育てに注目するのか？

⇒金融難民予備軍の親へ効果的に働きかけられるから！

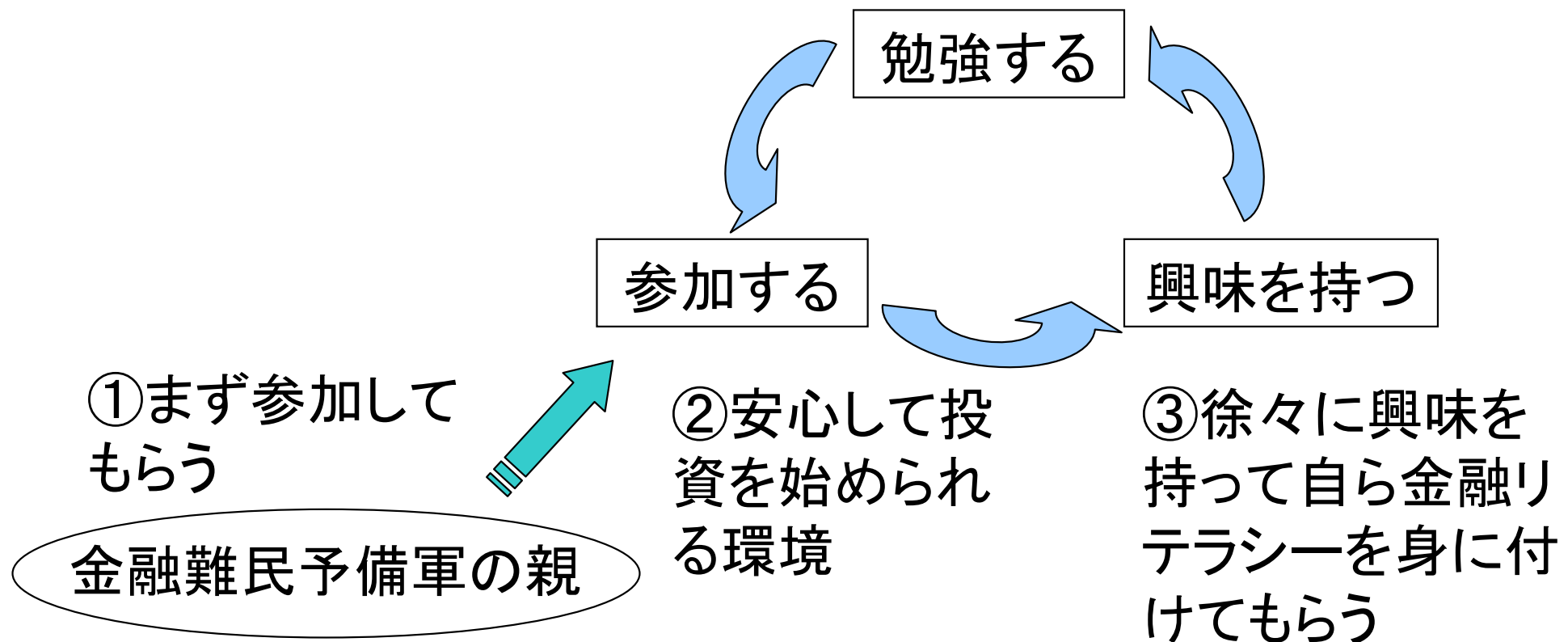
(A) 出産・育児はライフステージの一大事。家計の資金計画を長期的に見直すきっかけに。

(B) 教育資金で得た経験を、住宅資金・老後資金の運用へ活かしてもらう。

◆基金の目指す方向性

- ①投資以外の興味・関心を出発点に「まず参加してもらおう」
- ②初心者が「安心して投資を始められる環境」を制度として具体化する
- ③参加を通じて「徐々に興味を持って自ら金融リテラシーを身に付けてもらう」

◆(参考)金融教育「正のサイクル」へ



◆基金の工夫

①気軽に参加できる仕組みを整える

②初心者が安心して投資できる環境を追求

(a) 情報の中継点

(b) 中立的な相談窓口の提供

(c) 消費者保護の徹底

5章:提言の具体像

子ども未来投資基金体験談

Aさん 32歳

専業主婦

投資経験なし

第一子を出産したばかり

世帯年収500万円

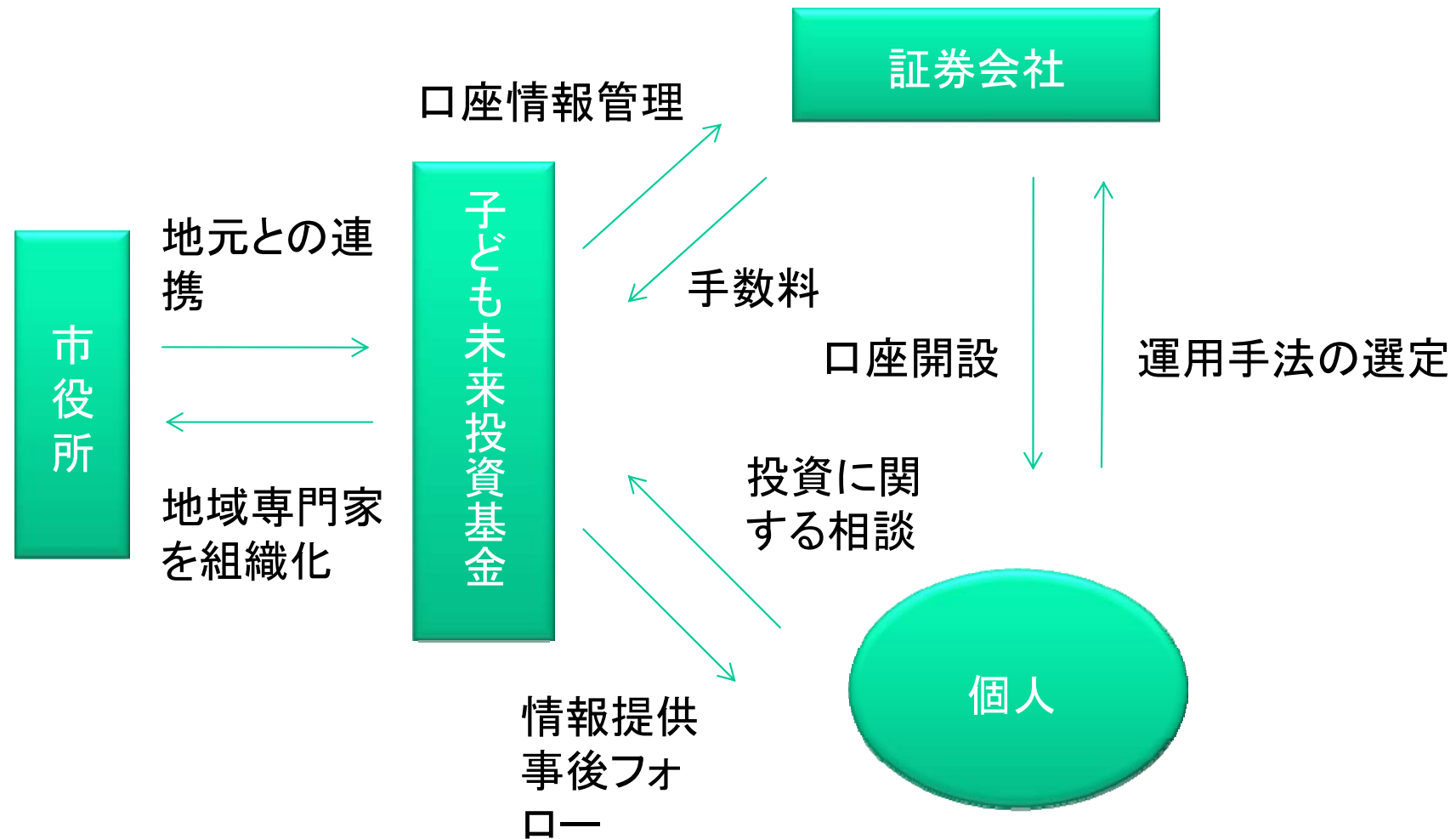
体験談①: 口座開設編

出生届を市役所に提出しに行ったAさんは「子ども未来
投資基金」のパンフレットを受け取る

「投資は怖いんだけど、何かいいことあるの？」

→開設時に出産祝い金10万円が振り込まれることもあり、Aさんはボランティア貯蓄ならと思い、加入。

◆(参考)子ども未来投資基金の組織図



☆解説：出産祝い金の支給

◎口座開設時に出産祝い金10万円が振り込まれる

- 原資は金融機関と国で5万円ずつ負担
- 元手無しに投資を始められる工夫
→とにかくまず参加してもらおう
- 少子化対策の観点から理解を得やすい

☆解説：ボランティア貯蓄

→ ゆうちょの「国際ボランティア貯金」を引き継ぐ

➤ 運用手法はマネー・リザーブ・ファンド(MRF)

→ 安全性・流動性の面で最も現預金に近く、初心者が馴染みやすい

➤ 配当金の一部を自動的にNPOに寄付

→ 投資への悪いイメージの払拭

◆基金の工夫－①

①気軽に参加できる仕組みを整える

・・・とにかく敷居を下げて参加してもらう

Ex. 子育て資金の運用、出産祝い金の支給、ボランティア貯蓄

②初心者が安心して投資できる環境を追求

(a) 情報の中継点

(b) 中立的な相談窓口の提供

(c) 消費者保護の徹底

体験談②：投資に興味をもつ

口座を放置していたAさん。子どもの幼稚園入園を控えたある日、基金からDMが届く。

「そういえば口座を作ってたな。そろそろ教育費のこととも考えなきゃ・・・」

→DMを読んだAさんは基金のポータルサイトにアクセス。
「知るぽると」などの存在を知り、投資を身近に感じていく。

☆解説：情報の整理・紹介

➤ポータルサイト、メルマガ、DM

→優良な情報を中立的立場から選定・誘導

Ex.金融基礎知識、商品の選び方、トラブル支援

➤投資について学ぼうとしても、情報が氾濫していて何から勉強すべきかわからないという不満に応える

◆基金の工夫－②(a)

①気軽に参加できる仕組みを整える

・・・とにかく敷居を下げて参加してもらう

Ex. 子育て資金の運用、出産祝い金の支給、ボランティア貯蓄

②初心者が安心して投資できる環境を追求

(a) 情報の中継点・・・氾濫する情報を基金が整理・紹介

Ex. ポータルサイト、メルマガ、DM

(b) 中立的な相談窓口の提供

(c) 消費者保護の徹底

体験談③：投資に踏み出す

投資に興味を持ち始めたAさん。

「でも、いきなり証券会社に行くのは怖いなあ。
誰か相談できる人でもいればいいのに・・・」

→Aさんは、基金に相談しフィナンシャルプランナーを紹介してもらう。投信を薦められ、新たに入金した30万円とあわせて口座の半分を投信で運用することに。

☆解説：中立的な相談システム

◎社会人向け金融教育の新たな担い手！

→中立的な相談相手がいないという不安に応える

①毎月一回、地域のFP、税理士、金融機関のOBがボランティアとして相談にあたる

②それ以外にも、基金が窓口となって随時地域の専門家を紹介

◆(参考)チェックシート見本

子ども未来投資基金 特製チェックシート 投資信託版 ～投資信託 虎の巻～

C.<店頭で投資信託を買う>編

・・・前編で購入前の準備ができました。今度は実際に金融機関で投資信託を購入しましょう。初めての人が緊張するのは当然ですが、下のチェックポイントを確認すれば大丈夫です！

①金融機関の営業員は幅広い商品を候補として紹介してくれましたか。

⇒実は営業員の人にはノルマがあって、売りたい商品とあまり売りたいくない商品があるんです。でも、そんな売ろうの事情は関係ないですよ。商品を選ぶ前にたくさんの候補があれば、良い買い物ができるのは洋服でも投資信託でも一緒。営業員が幅広い商品を候補として紹介してくれているか確認しましょう。もし紹介してくれないなら、こちらから他にオススメの商品はないか積極的に聞いてみましょう。

②金融機関の営業員はひとつ残らず疑問に答えてくれましたか。

⇒わからなくて恥ということはありません。初めてなのだからわからなくて当然。気の済むまで聞いてみましょう。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥ですよ！お金が絡むのだから真剣になって当然です。しかも、実を言うと、金融機関の営業員が、不十分な知識しか持たない顧客に金融商品売りつけるのは違法行為とされました。なので、営業員は質問に答える義務があるんです。

③解約手数料について確認しましたか。

⇒意外と見落としがちなのが解約手数料。解約手数料とは、解約時にかかる手数料のことです。投資信託特有のコストで運用成績に影響を与えます。多く見られるのは、投資信託の保有期間によって解約手数料が変わるタイプです。保有期

情報の非対称性の緩和

知識不足から、金融機関に対して弱い立場に
あった消費者を基金が
サポート

◆基金の工夫－②(b)

①気軽に参加できる仕組みを整える

・・・とにかく敷居を下げて参加してもらう

Ex. 子育て資金の運用、出産祝い金の支給、ボランティア貯蓄

②初心者が安心して投資できる環境を追求

(a) 情報の中継点・・・氾濫する情報を基金が整理・紹介

Ex. ポータルサイト、メルマガ、DM

(b) 中立的な相談窓口の提供・・・気軽に相談できる環境

Ex. 無料相談会の実施、FPや税理士の紹介サービス

(c) 消費者保護の徹底

体験談④：結果を受け取る

Aさんはある日、*投信の運用報告書*を受け取る。

「儲かっているのもあれば、損しているのもあるなあ……。でも、預金に比べると得してるかな？」

→Aさんは実体験を通じて、投資と不可分なリスクを学んでいく。税制優遇のおかげで成功体験を感じやすくなった。

☆解説: 税制優遇について

- 投資初心者が成功体験を得やすくする工夫
→実際に投資のメリットを経験することが、今後の積極的な参加を促進
- 現行の証券優遇税制をこの口座に限り恒久化
→譲渡益・配当金・分配金への税率を10%に固定

体験談⑤: トラブル編

投資成績の悪い投信を解約しようと思ったAさんですが、証券会社は手数料を盾に譲りません。

「どうしよう・・・まずは基金のサイトで調べよう！」

→Aさんは基金のポータルサイトから日本証券業協会の「あっせん・相談センター」を発見。アドバイスを受け、無事に投信を解約することができた。

☆解説: 金融トラブル支援

◎手厚いトラブル支援を提供

⇒投資への漠然とした不安感を和らげる

①既存のトラブル支援団体への消費者アクセスを改善

➤ポータルサイトを通じ各団体の役割や連絡先をPR

➤ADR機関の利用も促進

②過去の金融トラブル事例を蓄積・公表

◆基金の工夫－②(c)

①気軽に参加できる仕組みを整える

・・・とにかく敷居を下げて参加してもらう

Ex. 子育て資金の運用、出産祝い金の支給、ボランティア貯蓄

②初心者が安心して投資できる環境を追求

(a) 情報の中継点・・・氾濫する情報を基金が整理・紹介

Ex. ポータルサイト、メルマガ、DM

(b) 中立的な相談窓口の提供・・・気軽に相談できる環境

Ex. 無料相談会の実施、FPや税理士の紹介サービス

(c) 消費者保護の徹底・・・参加させた以上保護する責任

Ex. 金融トラブル支援

6章:最後に

～支える金融・つなぐ金融～

◆なぜ「子ども未来投資基金」か？

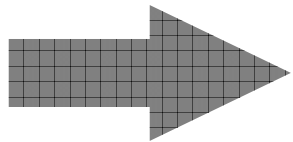
➤「貯蓄から投資へ」はマクロ経済的観点から意味があるだけでなく、人々の豊かな生活を実現するもの

➤そして、一人一人の参加が求められる政策に必要なのは、人々の実感に根差した視点からの提言

この政策は自分たちから見た「理想」の形である

◆子ども未来投資基金の社会的意義

◎暗い見通しばかり強調される現在。親から子へと、これからを担う将来世代に投資することは、日本の未来に投資すること。



未来を支える金融

世代間をつなぐ金融

支える金融・つなぐ金融

終

◆参考文献・Web

日本銀行HP(各種統計類)

内閣府HP(同上)

金融庁HP(同上・審議会議事録)

金融広報中央委員会HP(各種統計類)

東京証券取引所HP(同上)

内閣府「『貯蓄から投資へ』に関する特別世論調査」

個人投資家について考える研究会「個人投資家と証券市場のあり方」中央経済社

柏崎重人「普及促進が期待される個人勘定型年金」大和総研コラム

金融広報中央委員会「平成19年 暮らしと金融なんでもデータ」

野村総合研究所未来ナビ「金融難民が生まれる？」